

学 校 自 己 評 価 表

学校法人セムイ学園 東海医療科学専門学校

評価対象期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日

目 次

基準1 教育理念・目的・育成人材像等・・・1	基準6 教育環境・・・・・・・・・・・・・18
基準2 学校運営・・・・・・・・・・・・・3	基準7 学生の募集と受け入れ・・・・・・・・19
基準3 教育活動・・・・・・・・・・・・・4	基準8 財務・・・・・・・・・・・・・20
基準4 学修成果・・・・・・・・・・・・・6	基準9 法令等の遵守・・・・・・・・・・・・・21
基準5 学生支援・・・・・・・・・・・・・11	基準10 社会貢献・地域貢献・・・・・・・・22

基準1 教育理念・目的・育成人材像等

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
1-1	学校が教育を行う理念・目的・育成人材像などが、明確に定められ、実現するための具体的な計画・方法を持っているか	3	<p>「セムイ学園の精神」により、建学の理念、教育の目的、育成人材像を明確に定め、その実現のために社会に役立つ知識・技術に加え徳性を習得させることを定めている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 スチューデントマニュアルに「セムイ学園の精神」「徳性」を掲載し、新入生のオリエンテーションで解説周知している。 2 校長講話として「セムイ学園の精神」「社会に役立つ知識・技術・徳性」などを中心に全学科学生を対象に周知し、その内容を学生自身に考えさせる方法をとっている。 今年度は新型コロナの影響により対面での学生同士のディスカッションができず、校長講話の録画をみて感想文を書かせることとしたため、十分な効果は期待できなかった。 3 朝礼時に「徳性」の唱和と「セムイ体操」を実施して、教育理念の教職員間での深化を図っていたが、新型コロナの対応のため中止に至った。
1-2	・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。	3	<p>「教育目標」「育成人材像」は、各学科の専門業界委員による教育課程編成委員会における意見を取り入れ、学科毎に学校ホームページに上に掲載している。</p> <p>業界のニーズへの対応として、教員は各職能団体、学校協会の研修、学術研修に積極的に参加し最新の情報、技術の入手に努めているが、今年度は新型コロナの影響で研修会の中止などで例年より少ない参加状況であった。</p>

1-3	理念・目的・育成人材像等は、教職員に周知され、また学外にも広く公表されているか	4	理念・目的・育成人材像等は、校長講話の内容をテキストとして教員に周知し、各学科の教育活動の中で共有している。 学外には学校ホームページに公表するとともに、オープンキャンパスでは、学校の理念、学科の育成人材像を丁寧に説明している。
[評価] ※ 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切			

根拠となる規定、資料等 : 学則、学園ホームページ、事業計画
2020年度版スチューデントマニュアル

基準2 学校運営

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
2-1	人事、給与に関する規程等は整備されているか。	4	整備されている。就業規則、賃金規程等の諸規定は、学内サーバーの共有フォルダに保存されており、教職員が閲覧可能となっている。
2-2	学校の目的・目標を達成するための事業計画が定められており、学校は事業計画に沿って運営されているか	3	事業計画については、各校及び法人本部で作成し、評議員会及び理事会で意思決定されている。10月に事業計画の中間報告を行い、事業計画の進捗状況などについて報告と協議を行っている。新型コロナウイルスの影響により、教員研修は実施できなかった。
2-3	運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	4	法人全体の重要事項については、理事会・評議員会が組織され、意思決定を行っている。また、毎月経営会議を開催し、学校経営に係る事項や不定期に発生する重要事項について、協議し意思決定がなされている。
2-4	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	教育活動等の情報公開については、文部科学省の定めるガイドラインに基づき、学園のホームページにおいて情報公開に取り組んでいる。
[評価] ※ 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切			

根拠資料

- ・セムイ学園ホームページ <http://www.tokai-med.ac.jp>
- ・令和2年度 セムイ学園 事業計画

基準3 教育活動

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
3-1	教育目標・育成人材像は明確になっているか	4	セムイ学園の精神をスチューデントマニュアルに掲載し、新入生オリエンテーションにて通学課程の全学科に説明している。
3-2	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	教育課程編成委員会を2回開催した。 学校関係者評価委員会を1回開催した。 各委員会の意見をもとに改善策を検討し、ホームページ等に公表している。
3-3	教育課程は、適切に編成されているか(体系性)	3	指導調査の指摘をもとに適切に実施している。また、指定規則に則り適切なカリキュラム編成をしている。
3-4	各科目はカリキュラムの中で適当な位置付けをされているか	3	各科目は、厚労省監査の指摘や指定規則に則り、適切にカリキュラムの中に位置づけている。
3-5	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4	学則、履修規程、シラバスにより明確に定めている。
3-6	進級、卒業の基準は明確になっているか	4	学則、履修規程により明確に定めている。
3-7	教員の教授力(インストラクションスキル)を向上させる研修を行っているか	2	外部団体・外部組織の研修会・学会(Web開催)等に積極的に参加できた教員もいたが、新型コロナの影響で研修会そのものが開催されなかった。
3-8	授業評価の実施・評価体制はあるか	4	各期終了時に各クラス単位で全ての講義科目について実施している。
3-9	授業評価が授業改善に活かされているか	3	評価が低い場合には各学科長より面談等を実施し、改善に努めている。

			非常勤講師で学科長からお願いしにくい場合は、教学部長が対応することになっているが、今年度は対応することはなかった。
3-10	国家試験等の指導体制は確立されているか	4	<p>各学科ともこれまでの指導実績をもとに指導体制を修正し確立している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間実施した模擬試験をデータベース化し、苦手分野を数値化して、学生と教員が共有して成績向上を目指している。 ・1・2年生のころから模試を行い。グループ学習やペア学習を活用して効果を上げた。今年度は遠隔でのグループ学習も実施した。 ・他学科の成功実施例を取り入れ、国家試験合格率を上げた。 ・チューター制度により各教員が担当学生の学習進度を管理し、必要に応じて個別指導を行っている。
<p>[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切</p>			

根拠となる規定、資料等：学則、学園ホームページ、事業計画
2020年度版スチューデントマニュアル

基準4 学修成果

・臨床工学科

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
4-1	就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	4	臨床実習先や卒業生からの情報を共有し就職活動サポートの1つとしている。就職活動は基本担任が取りまとめを行うが学科教員全員でサポートを実施。
4-2	中退率の低減が図られているか	3	基礎学力の向上と授業の理解度を深めるため、授業後に補習(特に工学系を中心に)を毎週実施し、基礎学力の底上げを行っている。 また、学生の面談も一昨年よりも機会を増やし対応を継続して行っている。
4-3	国家試験対策を推進し資格取得率の向上が図られたか	3	授業後の補習の実施回数を増やし知識の底上げをおこなった。 また、学内教員でも役割分担を行い学科全体でのサポート体制で臨んだ。第33回臨床工学技士国家試験の合格率が100%であった。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切			

・理学療法科

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
4-1	就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	4	成績良好な学生に対しては早い時期から就職活動するように促している。成績の芳しくない者に関しては、成績向上後に就職活動を随時解禁している
4-2	中退率の低減が図られているか	3	平成30年度退学者19名/209名 (9.0%) 平成31年度退学者22名/212名 (10%) 令和2年度退学者12名/212名 (5.7%) 各担任が面談を行い、学生の様子をこまめにチェックしており、退学率も減少している
4-3	国家試験対策を推進し資格取得率の向上が図られたか	2	令和2年度卒業生内訳：76名入学、43名国家試験合格 (56.6%) 国家試験対策は学生からの意見も参考にし、変更・改善している
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切			

・作業療法科

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
4-1	就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	3	教務・学生支援課と連携し、2年次・3年次にそれぞれ就職指導の講義を行った。
4-2	中退率の低減が図られているか	4	新年度入学者に対して、入学3か月前から月1回(全2回)「入学

			前学習会」を開催し、入学後に3年間を共に過ごす学生との交流を図った。(3月の3回目はコロナのため中止) 休校・遠隔授業があり、密を避けるためレクリエーション等も行えなかったが、授業や演習を通して関係性を構築し退学者は0名である。
4-3	国家試験対策を推進し資格取得率の向上が図られたか	3	34名の在籍者のうち29名が卒業試験に合格し国家試験を受験した。(入学者からの受験率は72.5%) 受験者の合格率は96.6%であり、全国平均も上回った。(81.3%) 29名中28名が合格し、合格者数は東海3県の作業療法士養成校(専門学校)の中では一番多くの人数であった。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切			

・柔道整復科

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
4-1	就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	4	令和2年度も教務・学生支援課による就活講座を行い夏休み前から施設見学や就職に向けた取り組みを続けた。今年度も整形外科への就職が多くなっている。就活に動き出すタイミングが年々早くなっており、国対学習の面においてもよい影響を与えている。
4-2	中退率の低減が図られているか	3	学業不振、欠席の多い学生には担任教員による指導、三者面談等行い、中退防止に努めている。今年度は更に学生とのコミュニケーションを更に高め中途退学を抑制する。

4-3	国家試験対策を推進し資格取得率の向上が図られたか	4	国家試験受験者数を増やし、合格率は全国平均を上回ることができた。今後も国試対策について改善を行いながら進め、結果を伴っていくように努めたい。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切			

・言語聴覚科

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
4-1	就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	4	就職は成績に関係なく積極的に活動するよう促している。履歴書の書き方や面接指導など教務・学生支援課と連携して行っている。
4-2	中退率の低減が図られているか	4	定期面談に加え、常に学生の様子を見ながら声掛けを行っている。成績低迷者には個別指導を行っている。
4-3	国家試験対策を推進し資格取得率の向上が図られたか	4	チューター制度、個別指導にて対応している。合格率は前年度より高い結果を得られた。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切			

・看護科

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
4-2	中退率の低減が図られているか	3	学生相談や学習面に不安を抱える学生のサポート体制を整え行ってきた。3名の退学者が出たが、全体の1割以下に抑えることができた。
4-3	国家試験対策を推進し資格取得率の向上が図られたか	—	業者模擬試験の実施 ラインワークスで過去の国家試験問題を配信したり、1年生で押さえておきたい内容を専任教員で分担し特別講義を実施した。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切			

・社会福祉科（昼間課程）

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
4-1	就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	3	求人紹介や模擬面接を積極的に行っている。
4-2	中退率の低減が図られているか	3	随時、クラス担任による面談を行っている。
4-3	国家試験対策を推進し資格取得率の向上が図られたか	2	国家試験の合格率について、平成31年度は80%であったが、令和2年度は75%に減少した。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切			

基準5 学生支援

・臨床工学科

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4	教務・学生支援課と随時連携をとりながら就職試験対策の実施ができている。また、履歴書の添削、面接練習においては学内教員も行い学生の就職サポートに努めた。
5-2	父母との連絡は密に行われているか(特に未成年の場合)	4	履修状況、出席状況により指導が必要な学生に対しては保護者にも随時、連絡している。R2年度はコロナウイルスの影響により保護者会が実施できなかったため、例年以上に保護者への連絡を密に行い対応した。
5-3	卒業生への支援体制はあるか	3	就職先でのトラブルや悩みがあった場合、学校での面談や就職の斡旋を実施している。
5-4	学生の生活指導・勉強指導がきちんに行われているか	4	非常勤講師とも連携をとり、支援が必要な学生を早期に把握。時間のある教員は、授業後に各科目の補習を実施している(個別指導)。また生活指導における面談はほぼ毎日時間が許す限り実施した。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切			

・理学療法科

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4	キャリア講習だけでなく各学生の希望分野への支援を全教員で行っている
5-2	父母との連絡は密に行われているか(特に未成年の場合)	4	ウォーニング該当者や履修状況に問題がみられる学生の保護者には随時担任より連絡されている
5-3	卒業生への支援体制はあるか	2	新型コロナウイルス感染拡大を受け同窓会主催の勉強会が行えなかったが、就職先の紹介は随時行った。
5-4	学生の生活指導・勉学指導がきちんと行われているか	4	ウォーニング該当者や履修状況に問題がみられる学生への指導は随時担任より行われ、改善ない場合は役職者による面談も行っている
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切			

・作業療法科

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	3	教務・学生支援課と連携し、情報提供・就職指導・試験・面接の練習等を行った。
5-2	父母との連絡は密に行われているか(特に未成年の場合)	3	例年は年に2回、3学年で保護者会を行っているがコロナ渦のため中止とした。必要事項は書面で送付し、不明な点は電話で対応

			した。3年生の面談が必要な保護者には学校に来てもらっての面談を行った。
5-3	卒業生への支援体制はあるか	2	例年は学科同窓会主催の卒業後教育勉強会を4回行っているが、コロナ渦のため中止とした。
5-4	学生の生活指導・勉学指導がきちんと行われているか	4	担任を中心にクラス運営を行い、授業態度・生活態度の指導を行った。心配な学生には面談を通して目標管理、悩みの相談等を行った。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切			

・柔道整復科

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4	柔道整復科は例年一部の学生の就職先が決まっており就活をする必要のない状態の学生がいる。半面就職希望の学生も多く教務・学生支援課と連携しながら、就職先、学生と就職先の間に入り連絡を取りながら、高い就職率を目指し、支援している。
5-2	父母との連絡は密に行われているか(特に未成年の場合)	4	欠席が多い学生、再試験が多い学生について面談指導が再三なされており、適宜保護者への連絡、三者面談など行い学業に専念できるよう対応している。
5-3	卒業生への支援体制はあるか	4	資格取得者の卒後研修が定期的に行われている。資格未修得の卒業生には希望者を募り聴講制度、国試対策、受験支援を行っている。

5-4	学生の生活指導・勉強指導がきちんと行われているか	4	欠席が多い学生、再試験が多い学生については教員による生活面、学習面での面談指導が行われている。保護者への連絡を行い、三者面談など適宜行い学業に専念できるよう対応している。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切			

・言語聴覚科

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4	進路希望書をもとに面談を行い、本人の希望を把握し斡旋や紹介を行った。
5-2	父母との連絡は密に行われているか(特に未成年の場合)	4	大学卒業課程であることから父母との連絡は行わないが、必要に応じて対応する準備は整っている。
5-3	卒業生への支援体制はあるか	3	卒業後働いている学生がほとんどであることから、郵送で国家試験対策を提供している。就職に関しては求人の開示と紹介を行っている。
5-4	学生の生活指導・勉強指導がきちんと行われているか	3	生活面は基本的に本人に任せている。勉強指導は成績低迷者を中心に個別に対応している。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切			

・看護科

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4	教務・学生支援課と連携し、2年次、3年次に就職指導の講義を実施する予定。
5-2	父母との連絡は密に行われているか(特に未成年の場合)	4	年1回保護者会を実施している。学生の学校生活における問題は早めに父母と連携を取っている。
5-3	卒業生への支援体制はあるか		
5-4	学生の生活指導・勉学指導がきちんと行われているか	4	担任を中心にクラス運営を行い、授業態度・生活態度の指導を行っている。学習面等で心配な学生には面談を実施し、必要に応じて保護者への連絡を行っている。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切			

・社会福祉科 (昼間課程)

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4	エントリーシートの添削、面接練習を学科教員で行い、学生をサポートした。また、キャリアサポートセンターとも連携をとりながら就職対策を行っている。
5-2	父母との連絡は密に行われているか(特に未成年の場合)	3	大卒以上のクラスであるため特に行っていないが、必要であれば実施する体制はできている。

5-3	卒業生への支援体制はあるか	3	特に転職相談などの支援を行っている。国試不合格者に対しても学習相談を行っている。
5-4	学生の生活指導・勉強指導がきちんと行われているか	4	クラス担任を中心に行っている。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切			

・教務 学生支援課

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
5-1	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	4	日本学生支援機構奨学金をはじめ、教育訓練制度の講座登録や雇用セーフティネット対策訓練への対応、学校独自の奨学金制度を設け支援を行っている。
5-2	奨学金等の管理はできているか	4	年間を通じて希望者への説明会や個別対応を行い、申し込み手続きから事務処理においてもプライバシー配慮のもと滞りなく実施している。新制度となった給付型奨学金においても開始年度から対応した。
5-3	保健室の管理、健康診断の実施等、学生の健康管理はできているか	4	保健室は学生のプライバシーや感染対策を重視し、すべて個室にて対応している。年1回の健康診断や臨床実習に必要なワクチン接種も必要に応じて実施している。また新型コロナウイルス感染症についても学生への注意喚起をはじめ、種々の対策を行っている
5-4	学生相談に関する体制は整備されているか。	3	臨床心理士資格を持つカウンセラーによる相談室を年間通じて定期的に開室し、プライバシーに配慮した予約方法と感染症対策を行った環境にて学生の相談に応じている。ただ開室日によっては予約が

			取りづらい日もあり、希望数と実施数の調査を今年度より行う。	
[評価]	4:適切	3:ほぼ適切	2:やや不適切	1:不適切

基準6 教育環境

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
6-1	設備、機器・備品は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	学科からの教育機器、機材購入要望書に基づいて、購入検討を行い、適宜の機具機材を購入し、設備の充実を図っている。
6-2	防災に対する体制は整備されているか	3	備蓄品の保管スペースの確保と、予算化を行い、緊急時の飲食料を備蓄している。令和2年度は袋式トイレセット（5,000回分）。マスク、消毒液などの衛生用品を購入した。引き続き飲食料、衛生用品の備蓄の充実を図っていく。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切			

基準7 学生の募集と受け入れ

番号	点検項目	評価	点検項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
7-1	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか	3	新型コロナ禍により例年実施している高等学校への訪問による情報提供を十分に行うことができなかった。 そのため、指定校推薦や在校生の状況報告は郵送にて対応した。
7-2	学生募集活動は、適正に行われているか	4	時代のニーズに沿った多様な入学試験を実施している。 ① A0入試は書類審査（エントリーシート）と個人面接により判定を行っている。 ② 学校推薦入試、指定校推薦入試、社会人入試、一般入試においては小論文の採点基準を設け明確化し、判定している。また、一般入試の学力試験は科目の選択が可能になっている。 ③ 留学生には留学生特別入試で対応している。 入学試験の合否決済については、学科長より校長へ決裁書の申請を行っている。
7-3	学生募集において資格取得、就職状況等の情報は正確に伝えられているか	4	国家試験合格率、就職（内定）率などの情報はホームページやパンフレット等で情報提供を行っている。
7-4	学生納付金は妥当なものとなっているか	4	近郊の競合校と比較して同程度になっている。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切			

上記点検項目の根拠となるもの

- ・ 学校案内、入学生募集要項
- ・ ホームページ

基準8 財務

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	3	単年度でみればここ数年、財務状態はほぼ予定どおり推移していて事業活動収支は安定している。今後の施設設備拡充の為に計画的な積立が必要であり予定している。
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものか	4	令和2年度の事業活動収支状況について支出は予算内であり収支額は予算よりプラスになっており問題なく執行された。
8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	4	年間をとおして公認会計士の期中監査を12回、残高監査を5回、計算書類監査を2回受け、決算資料については監事監査を受けている。
[評価] 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切			

根拠資料

- ・令和2年度 事業活動収支計算書

基準9 法令等の遵守

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
9-1	法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	養成施設自己点検表に基づき点検し、改善をしている。内部監査は本校職員の監査員4名と行政書士1名（学外者）で、6月と11月に教学に関する事項を重点的に行った。監事監査規則を施行し、期中監事監査を11月に実施した。監査結果は理事会で報告し、学校全体で問題点の共有、対応策を協議し、コンプライアンスの徹底を図っている。
9-2	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	建学の理念・目的、教育および管理・運営内容の全般について、自己点検・評価を実施し、改善を図っている。
9-3	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3	個人情報保護の基本方針として、情報セキュリティポリシーを定め、情報セキュリティを確保している。 個人情報の漏洩についての事故は発生していない。 情報機器の一部、紛失があり、教職員に対する情報保護に対する啓蒙活動が必要であるため研修会の実施を予定している。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切			

根拠資料

・令和2年度 事業報告書

基準10 社会貢献・地域貢献

・臨床工学科

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	3	令和2年度では、臨床工学技士の100人会議（Web開催）の配信の場として当校実習室を利用。多くの方に臨床工学技士の職種について知ってもらう機会となった。
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	2	令和2年度は、コロナウイルスの影響により様々なイベントが中止の中、日本赤十字の献血活動については学生にも奨励。多くの学生が献血に協力してもらえた。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切			

・理学療法科

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	2	新型コロナウイルス感染拡大を受け、例年行っている文化祭時で行っている、この地区の方を招待し体力測定や健康指導が行えなかった
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	2	新型コロナウイルス感染拡大を受け、例年のボランティア活動がなかった
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切			

・作業療法科

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	2	例年は、学科の教員が参加している勉強会や同窓会主催の卒業後教育勉強会を当校の教室を使用して行っていたが、コロナ渦のため中止とした。
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	3	例年行われている精神科病院・老人保健施設・有料老人ホーム等の施設でお祭りや行事イベントがほぼ中止となったため、唯一依頼のあった放課後デイサービスのイベントにボランティアとして学生を送った。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切			

・柔道整復科

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	4	教員が高校に出向き柔道整復師の仕事について紹介する取り組みも行っている。学校ジムにおいてオリンピック強化指定選手などのアスリートへの支援を行っている。 外部のセミナーを開催し、学生に有益な勉強会を行っている。
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	4	高校などの部活に対して学生がボランティアでトレーナー活動に行くこともある。また学生によるジムトレーニングなどの活動も行っている。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切			

・言語聴覚科

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	4	サポートルームひまわりにて、発達に遅れのあるお子さんをサポートしている。卒業生には教室を研修会などに利用してもらうなど学びの場を提供している。
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	2	感染対策を考慮しボランティアの参加は見送っている。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切			

・看護科

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	4	実習病院先との教育連携 1病院ではあるがパートナーシップ協定を結び交流を図った。
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	4	東京オリンピックに向け、通訳や看護補助（ボランティア）の説明会を行った。 災害ボランティアコーディネーターの資格取得の説明を行い、それによって数名の学生が資格を取得している。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切			

・社会福祉科（昼間課程）

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	3	「パートナーシップ協定」によるスキルアップ支援として、本校の国家試験対策が受講できるなど、福祉を支える人材育成を始めとする社会貢献を行っている。
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	3	障害者支援施設や特別養護老人ホーム等の夏祭りや行事積極的に参加するよう情報提供を行っている。
<p>[評価] 4:適切 3: ほぼ適切 2: やや不適切 1: 不適切</p>			